



～季節の花便り～

茨城県の花“バラ”が見頃です!

ひたちなか市の花“ハマギク”も間もなく見頃を迎えます!



謹啓 秋冷の候 皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、現在、ひたち海浜公園の「ローズガーデン」で、茨城県の花「バラ」が見頃を迎えておりますのでご案内申し上げます。

バラの愛好家から「県内では指折りの名所」と評価の高いローズガーデンで咲く秋のバラは、初夏に比べて花色が濃く鮮やかな上に、香りが強いのが特徴です。その芳香はガーデン内いっばいに漂い、初夏とはまた違った“花の女王”の魅力を余すことなく存分にお楽しみいただくことができます。

また、砂丘エリアでは、ひたちなか市の花「ハマギク」が開花しており、11月上旬に見頃を迎える「イソギク」とともに、秋の砂丘エリアを彩る海浜部特有の花々をご覧くださいいただけますので、併せてご案内いたします。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしく願い申し上げます。 謹言

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4

ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下

電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339

※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001

ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/kaihin>

【バラ豆知識】

茨城県の県名は、県成立時に県庁所在地が置かれた場所（水戸）の郡名が茨城郡であったことに由来しています。そもその「茨城」が、「常陸國風土記」の茨城郡条に記述されたイバラの故事に由来していることから、茨城県の県花は「バラ」と定められました。

現在、園芸品種は3万種以上と考えられていますが、その元となったのは約120種ある野生種のわずか8種類とされています。品種改良の積み重ねによって、現在のさまざまなバラを楽しめるようになりました。

【ひたち海浜公園のローズガーデン】

ローズガーデンは平成3年10月の本公園のオープンとともに、数多くのお客様にお楽しみいただいています。

ガーデン内には122品種4,000株（2,500㎡）のバラが植えられ、海からの強い風からバラを守るため、周囲はウバメガシの高垣で囲われています。また、ガーデン全体はアーチや噴水のある西洋庭園風となっています。

バラはスタンダード仕立てやポール仕立てで、毎年、初夏（例年6月頃開花）と秋（例年10月頃開花）の2シーズン楽しむことができます。

【秋バラの特徴】

秋のバラは、初夏よりも花は小ぶりですが、色が鮮やかで香りが強いのが特徴です。

中でもおすすめは、別名“白雪姫”と呼ばれ、世界中で愛されている銘花「アイスバーグ」や、“太陽の炎”という意味の「サンフレーア」、花卉の表面の鮮やかな赤色と黄味を帯びた裏側とのコントラストが美しい「希望」、そして、皇太子妃時代の美智子殿下に捧げられたオレンジ色の花卉が鮮やかな「プリンセスミチコ」などです。

花は10月上旬から咲き初め、10月下旬頃まで楽しめます。

【現在のバラの状況】



平成19年10月15日撮影



平成19年10月7日撮影



長く花を楽しんでいただけるように、花がら摘み等きめ細やかな管理を行っています。

（平成19年10月15日撮影）



サンフレーア



希望



アイスバーグ



プリンセスミチコ

見頃は10月下旬

ハマギク

キク科キク属多年草

原産地：日本

【ハマギク豆知識】

ハマギクは本州の茨城県以北の太平洋側に分布し、海岸の崖などに生える日本原産のキク科の植物です。葉は肉厚で光沢があり、7cm前後の大きな白い花を咲かせます。

キク科の植物は世界に広く分布し、約920属、およそ20,000種が知られています。日本にはおよそ350種が野生し、日本原産のキクは地域ごとに固有種として分化していますが、中でも海に因む「イソ」と「ハマ」を冠したイソギク、ハマギクは観賞価値が高いものです。

シャスターデージーは、ハマギクとフランスギクの交配によって生み出されたとされています。



平成19年10月15日撮影

【ひたち海浜公園のハマギク】

本公園では、砂丘エリアの秋を彩る海浜部特有の植物として、砂礫ガーデンの風景に溶け込むように植えられています。

自生地である崖の風情を思わせる砂礫の小丘の続く中で、ひときわ白く鮮やかな彩りを見せています。

“ひたちなか市の花”として、本公園に縁深い花であることから導入されました。

見頃は11月上旬

イソギク

キク科キク属多年草

原産地：日本

【イソギク豆知識】

イソギクは本州の茨城県以南の太平洋側に分布し、海岸の岩石地や崖などに群生する20~40cmの多年草です。葉の表面が濃い緑色、裏面が銀白色というコントラストが美しく、花びらのない鮮やかな黄色い筒状の花が密にかたまると咲きます。

属名の *chrysos anthemion* は「金の花」というラテン語に由来します。



平成18年11月3日撮影

【ひたち海浜公園のイソギク】

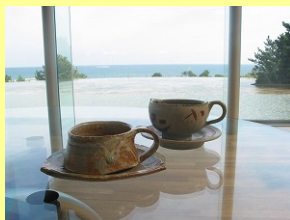
株数は少ないものの、ハマギクとともに、砂丘ガーデンや記念の森レストハウスの周辺にてお楽しみいただけます。

【おすすめ施設情報】「グラスハウス」

ひたち海浜公園の砂丘エリアにあるガラス張りのカフェテラス「グラスハウス」は、空気が澄み渡るこれからの季節がおすすめ。太平洋を望みながらくつろぎのティータイムはいかがでしょう。

関東最古の窯元「笠間焼」のカップで有機栽培コーヒーを楽しみながら、のんびりしたひと時をお過ごしください。

太平洋をバックに、
海浜植物を眺めながら
ホッと一息・・・





平成 19 年 10 月 15 日 撮影